

永野小学校地域防災拠点訓練 (2023.10.29)・・・若干の総括

自治会町内会 123 名 学校 8 名 区役所 6 名 消防 1 名

アマチュア無線 3 名 合計 141 名

1. 2019 年 9 月 29 日、4 年前に 350 名の拠点訓練

元禄型関東大震災 (99 年前の 1923 年・・・大正 12 年) の規模

市民 375 万 15% の約 58 万人が避難

13% の約 46 万人が帰宅困難者

拠点の 4 町会 1 万人・・・1500 人の家が倒壊し避難所へ

1300 人が帰宅困難者

分散避難 7 年目で小学校の教室が増えるなど前進面もあるが

今後分散避難場所を詰めていくことが重要・・・緑地公園等

※ 体育館・・・段ボールで仕切った 2 人～4 人用囲い。プライバシー

が守られる状況ではない。家が損傷していても住める状況

なら在宅避難のほうが・・・そのために拠点か在宅か

どちらの準備も必要。

2. 本部機能の強化・・・場所の確認とパソコン、トランシーバー等の設置

3. トランシーバー交信

本部と自治会館との連絡体制が確認された・・・

アマチュア無線も交信が成功

町内会が直接区役所と連絡はない。あくまで拠点本部

4. 資機材・・・まかない君を使用した炊飯訓練は成功

コロナ禍前の 2019 年実際にお米を炊く・・・失敗したまま器具が変更したので心配であったが・・・成功。

はまっこトイレの組立訓練・・・OK

5. 今後の課題

・避難場所の確保に向けた具体的取組・・・緑地や公園等

・拠点防災倉庫の増設・・・区長にも来年度は必ず設置するよう要望

・繰り返しの訓練でマニュアルに頼らずはまっこトイレやまかない君が使えるように・・・

6. 昨年、今年と訓練経験者増

共通の認識を得ることが出来た。・・・今後につながる成果